

平成27年度 窒素酸化物・粒子状物質排出量調査結果（速報値）

1 概要

平成27年度に、窒素酸化物（NO_x）及び粒子状物質（PM）の排出量調査を実施しており、現在集計中である。

(1) 対象年度

現状 平成24年度

将来 平成30年度

(2) 集計方法

No.	発生源	主な集計データ
①	工場・事業場	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染物質排出量調査〔名古屋市〕 ・P R T Rの届出データ〔名古屋市〕
②	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・H22全国道路・街路交通情勢調査（道路交通センサス）〔国土交通省〕 ・自動車検査登録情報（車種、初度登録年別登録台数）〔一般財団法人自動車検査登録情報協会〕
③	船舶・航空機	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港入出港船舶管理台帳〔名古屋港管理組合〕 ・県営名古屋空港を離発着する航空機〔愛知県〕
④	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家計調査年報〔総務省〕 ・国勢調査〔総務省〕
⑤	小規模事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー・経済統計要覧〔一般財団法人省エネルギーセンター〕 ・総合エネルギー統計〔経済産業省〕
⑥	建設機械等	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊自動車排出ガス算定データ更新業務報告書〔環境省〕 ・元請け完成工事高・製造品出荷額・経営耕地面積〔名古屋市〕

(3) 単純将来（平成30年度）の予測指標

No.	発生源	将来予測の主な指標
①	工場・事業場	<ul style="list-style-type: none"> ・長期エネルギー需給見通し〔経済産業省〕
②	自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな交通需要推計〔国土交通省〕 ・自動車単体規制（最新規制車へ乗り換え）
③	船舶・航空機	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋港港湾計画〔名古屋港管理組合〕（名古屋港の総取扱貨物量）
④	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域別将来推計人口（世帯数（≒人口）の変化）〔国立社会保障・人口問題研究所〕
⑤	小規模事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域別将来推計人口（労働者人口の変化）〔国立社会保障・人口問題研究所〕
⑥	建設機械等	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊自動車の単体規制（最新規制車へ乗り換え） ・元請け完成工事高・製造品出荷額・経営耕地面積の変化

2 排出量測定結果<速報値>

市内の窒素酸化物排出量

(単位:t)

	工場・事業場	自動車	船舶・航空機	家庭	小規模事業場	建設機械等	合計
H12	2,629	6,582	2,385	1,121	721	3,622	17,060
H17	2,346	5,078	811	591	380	2,991	12,196
H24	1,970	4,612	100	541	739	2,328	10,290
H30予測	1,878	3,108	98	557	742	1,607	7,990

市内の粒子状物質排出量

(単位:t)

	工場・事業場	自動車	船舶・航空機	家庭	小規模事業場	建設機械等	二次生成粒子 ^{注2}	合計
H12	625	1,347	224	65	108	154	4,195	6,718
H17	291	640	173	36	311	108	975~1,548	2,534~3,108
H24	87	162	92	22	361	118	662~994	1,504~1,836
H30予測	83	115	104	22	362	96	574~862	1,356~1,644

(注1) H12：平成17年答申の際に検討したシミュレーションでの実績値

(愛知県「今後の窒素酸化物及び粒子状物質対策のあり方について」)

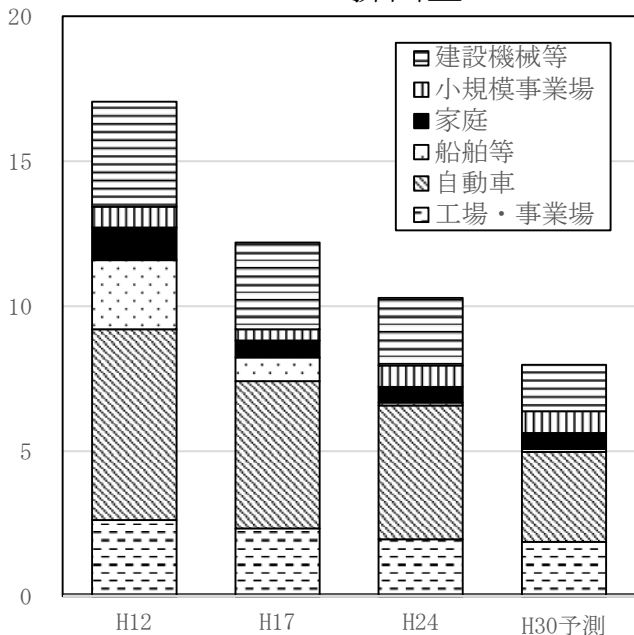
H17：窒素酸化物・粒子状物質排出量調査(名古屋市 平成20年10月)の実績値

(注2) 二次生成粒子の算出には、千葉県係数、東京都係数、大阪府係数があり、値に幅がある。

(注3) 各項目は四捨五入しているため、合計が合わない場合がある。

(千t)

NO_x排出量



(千t)

PM排出量

